一般質問

一般質問とは議員が町の行政全般にわたって、執行機関に行財政の運営や現行の政策等について報告や説明を求め、疑問を質すものです。

防災について問う

答弁：町は、全ての指定避難場所に非常食、発電機の配備を行っている。不足していると思われる物資等は、可能な限り順次配備していきたい。

齊藤のぞみ議員

《齊藤議員》

北海道胆振（いぶり）東部地震が大きな災害をもたらし、北海道全体がブラックアウト（停電）に見舞われた。その時、避難所の備蓄倉庫には発電機がなく、毛布、非常食も少ない地域もあった。当町では、どのような状況になっているか。

《町長》

当町では、各集会所をはじめ、小中学校体育館、役場本庁、両支所、北金ケ沢総合防災センターなど40数か所の指定避難所があり、非常食は50人から200人分程度備蓄している。また、発電機については、各集会所に1台、役場本庁、両支所にそれぞれ4台配備している。毛布は、北金ケ沢総合防災センターに300枚保有している。その他不足な物資等は、可能な限り順次配備していくこととしている。

また、今年4月に毎戸配布した、地域防災計画のダイジェスト版に、自ら事前に準備しておくべき持出品や備品のリスト等を掲載しているので、確認していただきたい。

▲備蓄している毛布（北金ケ沢総合防災センター内）

児童、障がい者、高齢者の虐待とDVについて問う

《齊藤議員》

児童、障がい者、高齢者への虐待や女性へのDV（ドメスティック・バイオレンス）によって命を落とすという事件が起きているが、叩くとか暴力ばかりではなく様々な形での暴行があるが、当町の現状と、どのような対策等を講じているかを伺う。

《町長》

平成29年度、児童虐待の疑いのある養護相談が4件、対象実人員は6人で、全てネグレスト問題を抱えていたが、幸いにして、家族、親戚のサポートがあり、ケガや生命に影響するようなケースはなかった。

町では、「市町村と児童相談所の機関連携対応方針」「子ども虐待対応マニュアル」に沿って、適切に対応している。

また、障がい者、高齢者の虐待については、毎年1、2件の頻度で通報や相談はあるが、それぞれに「虐待防止対策マニュアル」を整備しており、これを基に適切に対応することで、重大な事案の発生は防げている状況である。

また、DVについては、これまで直接的な相談はない。平成29年4月に設置された県の相談窓口である「あおもり性暴力被害者支援センター」については、広報お知らせ版に掲載し、役場・両支所等の男女トイレに相談先を掲載したカードを設置している。いずれの虐待についても、正しい知識・サポート方法を学ぶ研修会や講習会の開催、町広報紙等で定期的に周知を図る必要があると考えている。

ネグレストとは：幼児、児童、高齢者、障がい者など社会的弱者に対して、その保護や養育義務を果たさず放任する行為。育児放棄など。

▶設置している相談窓口カード（役場・両支所トイレ内）